



所信声明

女性と助産師のパートナーシップ

Partnership between Women and Midwives

背景

助産は、女性と助産師のパートナーシップに基づいて健康アウトカムの促進を目指す専門職業である。国際助産師連盟（ICM）の「助産師の倫理綱領ⁱ」では、助産師が、一人一人の女性とパートナーシップを築き、その中で積極的に女性と情報を共有し、自らと新生児が受けるケアについての決定に女性が積極的にかかわる権利を支援するよう求めている。助産師は、女性たち自身が文化・社会の中で自身と家族の健康に影響を及ぼす問題について、自由に声をあげる環境を作ることに、寄与する。

所信声明

ICM は、あらゆる機会をとらえ、国際的・地域的・国内的なレベルで女性の利益を代表するグループと協働し、リプロダクティブ・ヘルスが世界的に公平なものとなる成果を出していく。助産専門職のさらなる発展を目指して、次のことに関するイニシアチブを最大限に発揮する。

- 女性と新生児が必要とするヘルスケア
- 女性自身が、自らに必要なことを明確にする過程に関与すること
- 助産師に対して、質の高いケアの提供を目的として行われる活動に、助産ケアの利用者として女性を積極的に参加させるよう求めること。
- 女性の自律と臨床ガイドラインを尊重する助産師を通じて、女性に優しいサービスを確保すること。
- 女性のインフォームドチョイスやケアのあらゆる側面に同意を求めることの重要性を支持する実践ガイドラインの採択を推進すること。

会員団体への推奨

会員団体に対し、以下の行動をとることを求める。

- それぞれの環境における行動に、この所信声明を活用すること。
- 女性を団体の活動に参画させること。

関連 ICM 文書

ICM. 2014 基本文書 助産師の倫理綱領

ICM. 2014 所信声明 助産ケアの理念とモデル

その他の関連文書

De LaBrusse C. et. Al. 2016. Patient-centered Care in Maternity Services: A Critical Appraisal and Synthesis of the Literature. *Women's Health Issues*, Volume 26, Issue 1, 100 - 109

Every Woman Every Child. 2015. The Global Strategy for Women's, Children's and Adolescents' Health (2016-2030). Moore, J. et.al. Transforming Patient-Centered Care: Development of the Evidence Informed Decision making through Engagement Model. *Women's health Issues*. Volume 25, Issue 3, 276-282

Henshall et al. 2016. A systematic review to examine the evidence regarding discussions by midwives, with women, around their options for where to give birth *BMC Pregnancy and Childbirth*16:53 DOI 10.1186/s12884-016-0832-0

2005 年ブリスベン国際評議会にて採択

2017 年トロント国際評議会にて改訂

次回の見直し予定：2023 年

2017 年 公益社団法人日本看護協会、公益社団法人日本助産師会、一般社団法人日本助産学会 訳

ICM発行文書の原文については、ICMが著作権を有します。

日本のICM加盟団体である日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会は、ICMの許諾を得て日本語に翻訳しました。

日本語訳の著作権については、原文作成者であるICMと日本看護協会・日本助産師会・日本助産学会に帰属します。

原文の転載引用については、ICMに連絡し使用許諾を得てください。

日本語訳の転載引用については、日本助産師会<http://www.midwife.or.jp/>に連絡し使用許諾を得てください。